

講義コード	2N42300		
講義名	高齢者看護学実習Ⅰ		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	後期		
講義区分	実習		
基準単位数	1		
時間	45.00		
代表曜日			
代表時限			
科目分類名	専門実践分野		
科目分野名	高齢者看護学		
対象学科・年次	看護学科・1年次		
必修/選択	必修		
担当教員			
職種	氏名	所属	
講師	◎ 山本 弘恵	高齢者看護学領域 看護師免許保有	
教授	吉武 毅人	成人看護学領域 医師免許保有	
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有	
講師	山口 今日子	成人看護学領域 看護師免許保有	
准教授	渡邊 美保	高齢者看護学領域 看護師・保健師免許保有	
教授	安藤 満代	精神看護学領域 看護師免許保有	
助教	小川 有希子	地域看護学領域 看護師・保健師免許保有	
到達目標(SBO)			
※対応するディプロマポリシー: (1) (2) (3) ※対応するカリキュラムポリシー: (2) 1.高齢者とのふれあいを通して、加齢による心と身体の変化の実際を知ることができる。 2.高齢者の日常生活から身体機能、生活に対する満足や生きがい等について理解することができる。 3.高齢者の健康維持への取り組みについて理解することができる。 4.地域や行政における高齢者への支援の取り組みについて理解することができる。 5.高齢者の社会活動に接し、高齢者とのコミュニケーションを体験することができる。 6.高齢者の特徴を知り、尊厳ある態度で接することができる。			
授業計画表			
回	項目	内容	方略
第1回	高齢者看護学実習Ⅰ	実習方法は、別途実習要項を参照	実習
授業概要			
早期体験実習として実際の医療現場にふれる「基礎看護学実習Ⅰ」において、将来看護を目指す者としての基本的態度を学んだことを基盤に、ここでは地域で生活する高齢者とのふれあいを通して、身体的、精神的、社会的な側面から理解を深め、日常生活とその環境について学ぶ。そのために高齢者疑似体験を通して身体的特徴及び加齢に伴う生活の影響や心理について、また認知症サポーター養成講座を受講し認知症の基礎知識について学ぶ。社会福祉協議会による出前講座において高齢者に対するマナーやふれあいサロン活動に対する心構えを学ぶ。以上のことをふまえ、実際に地域で生活する高齢者とふれあい、コミュニケーションを体験し、孤立防止や介護予防、生きがいと健康づくりについて学ぶ。ここでの学びを今後、高齢者看護学概論、へとつないでいく。			
授業形式			
実習			
評価方法			
■実習評価 実習評価基準による評価			
教科書 (ISBN 番号)			
初回講義時、お知らせします。			

参考書
その都度お知らせします。
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時、お知らせします。
学生へのメッセージ
高齢者の方々のことや自分が年齢を重ねていくこと等を考えたことがありますか？ 若い学生さんたちにもぜひ、これらのことに興味関心を持って頂きたいと思います。 この実習では高齢者の方、そして取り巻く人々としっかりふれあい、たくさんお話をしてください。今までとは違う何かを感じたり、気付いたり できるとうれしいですね。

講義コード	1N45200
講義名	メンタルヘルス論
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	
基準単位数	1
時間	15.00
代表曜日	木曜日
代表時限	1時限
科目分類名	専門実践分野
科目分野名	精神看護学
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 安藤 満代	精神看護学領域 看護師免許保有
(非常勤)講師	宮崎 初	指定なし

求められる基本的な資質

以下にこの科目を学ぶための基本的な資質を示します。

- 1.精神看護学の基礎としての精神的健康(メンタルヘルス)について興味や関心をもっている。
- 2.人を看護する場合において、身体的側面と同様に精神的側面も重要であると考えられることができる。
- 3.講義やグループワークにおいては積極的に関わろうとし、また協調性をもっている。
- 4.レポート課題に対しては、問題を探求しようとする姿勢を持っている。
- 5.社会のさまざまな場面での精神的健康の問題と看護について関連について考える姿勢をもっている。

一般目標(GIO)

1. 人間にとっての精神的健康(メンタルヘルス)の重要性やメンタルヘルスの概念を理解できる。
2. 精神的健康が、個人のライフサイクル、家族や社会との関係のなかで形成されることを理解できる。
3. 精神的健康を保つための基礎として、人間の心の構造や働きについて理解できる。
4. 精神的健康の不調に影響するストレスや危機について理解できる。
5. 学校・職場・地域社会における精神的健康の問題や課題について理解できる。
6. 精神的健康を保持・増進する方法について理解できる。

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1) (2) (3)

※対応するカリキュラムポリシー: (2)

1. 人間の精神(心)の構造と機能について述べるができる。
2. 自我の発達と精神(心)の健康について述べるができる。
3. 欲求と心の健康について知識を持つことができる。
4. 危機モデルにおける精神の成長発達と状況的危機について知識を持つことができる。
5. 現代における社会状況の変化が及ぼすストレスと心身の健康について議論することができる。
6. ストレスマネジメントの知識を基に、日常生活に役立つ方法を記述することができる。
7. 人間の一般的な精神(心)に関する知識と自己の体験を関連づけて意見を述べるができる。
8. 心身の健康を維持する方法や対策を述べるができる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	安藤 満代	講義ガイダンス メンタルヘルスとは何か、精神(心)の構造と機能	講義の進め方、履修上の注意など メンタルヘルスとは何か 精神(心)の構造と働き(イド、自我、超自我)	講義
第2回	安藤 満代	こころと環境	欲求と心の健康(動機づけ)、動機づけ理論(マズロー)、不安と防衛機制	講義
第3回	安藤 満代	自我の発達と心の健康	精神分析理論における自我機能、発達に関する諸理論(フロイト、エリクソン、ピアジェ)	講義

第4回	宮崎 初	危機状況と心の動き、危機モデルと危機予防	精神の成長発達と危機、発達の危機と状況的危機(PTSD、災害時の反応など)、危機モデルと危機予防	講義
第5回	宮崎 初	現代社会におけるストレスと健康	現代社会におけるストレスと健康	講義
第6回	宮崎 初	ストレスマネジメント	心の危機とストレスコーピング、ライフイベントとストレス尺度(ライフワーク・バランス)	講義
第7回	安藤 満代	心と身体 of 相互作用	心身症、うつ病	講義
第8回	安藤 満代	メンタルヘルス論のまとめ	メンタルヘルス論のまとめ	講義
授業概要				
人間の健康を理解するためには、様々な視点から理解する必要があり、こころ(精神)と身体と環境(社会)は密接に関係している。現代では、人間関係の多様化からこころの問題も多様化しており、対人関係でストレスを受けて、こころや身体に変調をきたす例も少なくない。このように、メンタルヘルスの問題は私たちの身近に起きており、出産・育児から、親子・夫婦関係や学校・職場の人間関係など、日常生活に深くかかわっている。これらの現状を踏まえて、以下の点を中心に学んでいく。 1. 人間の精神(心)を生物学的な面のみでなく、心理学的、特に発達学的側面、社会学的側面から、広く関係理論を説く。精神の健康とは何かについて、自己の体験と結びつけながら考え、改めて心身の健康の維持について学ぶ。 2. 学生が一人の社会人として、また医療従事者として、心身の健康を維持するための諸知識を基に、自己に適したメンタルヘルスに関する対処方法を模索し表現する。				
授業形式				
講義、グループワーク、プレゼンテーション、視聴覚教材の視聴				
評価方法				
■定期試験 ■レポート 定期試験 60%、レポート 40%				
教科書(ISBN 番号)				
岩崎弥生・渡邊博幸(編集)(2015) 精神看護学概論 精神保健. メヂカルフレンド社				
参考書				
その都度お知らせします。				
オフィスアワー(授業相談)				
初回講義時、お知らせします。				
学生へのメッセージ				
精神保健(メンタルヘルス)は、どの人にとっても生活の質に関わる重要なものと言えます。またこれは、社会のさまざまな場面でも関係しています。学生の皆さんにとっても今後の学生生活を有意義にしていくために、有意義な知識となるでしょう。社会との関連で考えていくという広い視野を持ちながら、学修していきましょう。				

講義コード	1N54100
講義名	スタディスキルセミナー
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	前期
講義区分	
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	木曜日
代表時限	2時限
科目分類名	看護統合分野
科目分野名	キャリア開発科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山本 弘恵	高齢者看護学領域 看護師免許保有
教授	平田 伸子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
教授	吉武 毅人	成人看護学領域 医師免許保有
教授	長家 智子	基礎看護学領域 看護師免許保有
講師	権藤 多栄	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	竹井 千里	基礎看護学領域 看護師免許保有
准教授	中村 真理子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	山口 今日子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	丸山 智子	成人看護学領域 看護師免許保有
助教	井上 由美子	成人看護学領域 看護師免許保有
准教授	渡邊 美保	高齢者看護学領域 看護師・保健師免許保有
講師	小山 記代子	小児看護学領域 看護師免許保有
講師	川口 弥恵子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
教授	安藤 満代	精神看護学領域 看護師免許保有
教授	西田 和子	地域看護学領域 看護師・保健師・助産師免許保有
助教	小川 有希子	地域看護学領域 看護師・保健師免許保有
教授	西地 令子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有
准教授	園田 和子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有
(非常勤)講師	岡本 靖子	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1)
 ※対応するカリキュラムポリシー: (5)
 1. 大学で看護を学ぶ意義について見出すことができる。
 2. ノートの書き方、レポートの書き方を理解し作成できる。
 3. プレゼンテーションの方法を活用し、大学で学ぶ意義について発表できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	講義ガイダンス 大学で学ぶ グループメンバー、アドバイザーを知る	講義の進め方、履修上の注意など 大学で学ぶ、大学で看護を学ぶとは スタディスキル、スチューデント・スキル、キャリアデザインとは アドバイザー毎のグループワーク	講義 演習
第 2 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	クラスのメンバーをお互いを知る	自己紹介	演習
第 3 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	クラスのメンバーをお互いを知る	自己紹介	演習

第 4 回	平田伸子 吉武毅人 安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	建学の精神	建学の精神、本学の歴史	講義
第 5 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	スタディスキル	ノートのとり方	講義
第 6 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	スタディスキル	情報リテラシー、文章の読み方、まとめ方	講義
第 7 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵	スタディスキル	図書館ガイダンス、図書館の使い方	講義

	小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子			
第 8 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	スタディスキル	レポートの書き方	講義
第 9 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	スタディスキル	計画的に学ぶ① 振り返りを促す学修ポートフォリオの作成	講義
第 10 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子	スタディスキル	計画的に学ぶ② 学修ポートフォリオの使用 ディスカッションスキル、演習・実習に必要なスキル	講義

	吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子			
第 11 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	スタディスキル	プレゼンテーション・スキル	講義
第 12 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	スタディスキル	プレゼンテーションの準備	演習
第 13 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄	スタディスキル	プレゼンテーションの準備	演習

	溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子			
第 14 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 小地令子 岡本靖子	プレゼンテーション	「自分は大学で看護をどのように学ぶか」について発表	演習
第 15 回	安藤満代 園田和子 山本弘恵 小川有希子 平田伸子 吉武毅人 長家 智子 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山口今日子 丸山智子 井上由美子 渡邊美保 小山記代子 川口弥恵子 西田和子 西地令子 岡本靖子	プレゼンテーション スタディスキルセミナーのまとめ	「自分は大学で看護をどのように学ぶか」について発表 スタディスキルセミナーの振り返りと理解度確認	演習

授業概要

看護者として必要な知識・技術・態度を養うために基本となる学習方法や倫理的判断の基盤となる思考や態度を養う。個別の学習ニーズに対応しながら、有意義な大学生活への導入を図る。また、今後の学びや将来の自分像へと発展させるために看護や看護をとりまく社会状況への関心が持てるように導入する。そのために大学で学習する上で必要となる学習方法(文献検索・レポートの書き方など)について講義をする。大学での学び方を学ぶ内容である。

授業形式

講義、演習

評価方法
■レポート ■その他(プレゼンテーション) リフレクションシート 20%、プレゼンテーション 30%、課題レポート 50%
教科書 (ISBN 番号)
「よくわかる看護学生のための大学での学び方第 2 版」 監修前原澄子他 金芳堂 (ISBN978-4-7653-1768-9)
参考書
その都度お知らせします。
オフィスアワー(授業相談)
初回講義時、お知らせします。
学生へのメッセージ
大学で看護を学ぶことを選んだみなさん。 大学では主体的な学習が求められます。この「スタディスキルセミナー」では、主体的な学習ができる基礎的能力を身につけます。 そしてこの能力を、他の科目、自己学習にと、大いに活用してください。

講義コード	1N55100
講義名	看護学研究 I
(副題)	
開講責任部署	
講義開講時期	通年
講義区分	
基準単位数	1
時間	30.00
代表曜日	月曜日
代表時限	2時限
科目分類名	看護学統合分野
科目分野名	看護学研究科目
対象学科・年次	看護学科・1年次
必修/選択	必修

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 渡邊 美保	高齢者看護学領域 看護師・保健師免許保有
教授	平田 伸子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
教授	吉武 毅人	成人看護学領域 医師免許保有
講師	権藤 多栄	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	溝口 晶子	基礎看護学領域 看護師免許保有
助教	竹井 千里	基礎看護学領域 看護師免許保有
准教授	中村 真理子	成人看護学領域 看護師免許保有
講師	山本 弘恵	高齢者看護学領域 看護師免許保有
講師	小山 記代子	小児看護学領域 看護師免許保有
講師	川口 弥恵子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有
助教	小川 有希子	地域看護学領域 看護師・保健師免許保有
准教授	園田 和子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有
(非常勤)講師	岡本 靖子	指定なし

到達目標(SBO)

- ※対応するディプロマポリシー: (1)
 ※対応するカリキュラムポリシー: (5)
 1. 関心領域のテーマについて多角的視点から調べる方法を理解できる。
 2. 探求した事柄をまとめ、他者にわかりやすく提示、発表することができる。
 3. 看護界における研究発表の実際を知り、研究及び研究的態度の必要性を理解できる。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	渡邊美保	講義ガイダンス 看護と研究	講義の進め方、履修上の注意など 看護実践と科学の関連	講義
第2回	渡邊美保	文献検索	文献検索方法、情報リテラシー	講義
第3回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山本弘恵 小山記代子	文献検索の実際	関心領域の文献収集	演習

	川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子			
第 4 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子	文献検索の実際	関心領域の文献収集	演習
第 5 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子	医療と健康	医療と健康に関するテーマ理解	演習
第 6 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子	医療と健康	関心領域テーマの探求	演習
第 7 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子	医療と健康	関心領域テーマの探求	演習
第 8 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子	医療と健康	グループ討議	演習

	山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子			
第 9 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子	医療と健康	グループ討議	演習
第 10 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子	医療と健康	全体発表準備	演習
第 11 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子	医療と健康	全体発表	演習
第 12 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 岡本靖子 溝口晶子 竹井千里 中村真理子 山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子	医療と健康	全体発表	演習
第 13 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子	看護系学会参加	大学近郊で開催される看護系学会参加	学外

	竹井千里 中村眞理子 山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子			
第 14 回	渡邊美保 平田伸子 吉武毅人 権藤多栄 溝口晶子 竹井千里 中村眞理子 山本弘恵 小山記代子 川口弥恵子 小川有希子 園田和子 岡本靖子	看護系学会参加	大学近郊で開催される看護系学会参加	学外
第 15 回	渡邊 美保	看護研究の意義 看護学研究Ⅰのまとめ	看護研究の役割、期待 看護学研究Ⅰの振り返りと理解度確認	講義

授業概要

看護学研究への導入として、看護実践と科学の関連を理解し、探求することへの関心を高める。
医療と健康に関連した関心ある事柄を追求し、調べることの楽しさを通して、疑問や課題に気づき、それを解決していくための方法があることを学ぶ。具体的には文献検索の方法、看護実践の課題と研究テーマの関連性など、看護研究の基本的な考え方を学ぶ。また、本学近郊で開催される看護系学会に参加し、学内発表とは異なる公的な場での成果発表の実践を学ぶ。ポスター（示説）発表、口演発表等の発表形式の違いや、プレゼンテーション・フロアとの質疑応答の際のマナーを学び、今後、看護学研究Ⅱ・Ⅲに学び進めていけるように活かしていく。

授業形式

講義、演習

評価方法

■レポート ■その他（グループ討議・プレゼンテーション）レポート 50%、グループ討議 30%、プレゼンテーション 20%

教科書（ISBN 番号）

①「看護における研究」 南裕子、野嶋佐由美 著：日本看護協会出版会（ISBN 978-4818020665）

参考書

その都度お知らせします。

オフィスアワー（授業相談）

原則として、開講日講義・演習終了後の時間帯。その他の時間を希望するときは、ご連絡ください。

学生へのメッセージ

この科目では、リング式のファイルを各自 1 個準備して下さい。ファイルには、①講義資料（文献含む）、②自己学習資料、③グループワーク資料、④学会参加記録、⑤医療や健康に関する新聞記事や手記などの切り抜きをファイリングするようにしましょう。素朴な疑問や探究心が看護研究をスタートするための第一歩となります。

備考

グループで取り組む事柄については、各自がテーマ内容を理解し、自らの役割について考え参加すること。

講義コード	1N11100				
講義名	心理学				
(副題)					
開講責任部署					
講義開講時期	前期				
講義区分					
基準単位数	1				
時間	30.00				
代表曜日	水曜日				
代表時限	2時限				
科目分類名	教養・基礎分野				
科目分野名	人文科学科目				
対象学科・年次	看護学科・1年次				
必修/選択	必修				
担当教員					
職種	氏名	所属			
(非常勤)講師	谷口雄紀	九州大学人間環境学府			
到達目標(SBO)					
※対応するディプロマポリシー:(1) ※対応するカリキュラムポリシー:(1) 人の行動と心理に関する基本的な知識と考え方を修得する。 ○科学としての心理学の領域について概説できる ○錯視などの心理的環境について体感し、再確認できる ○発達について理解し、各発達段階の特徴を概説できる ○思考の発達や乳児の能力について理解できる ○生涯発達の視点から自我同一性の確立、世代性について自分の問題として捉えることができる ○臨床心理学について学問的に理解できる ○心理療法について概説できる ○性格や性格検査について理解し、科学としての心理学について概説できる ○個人と集団、社会との関わりについて理解し、自己認知を深める ○学習について理解し、日常生活で効果的な学習ができるようになる					
授業計画表					
回	時限	担当教員	項目	内容	方略
第1回	2時限	谷口雄紀	心理学とは	心理学とはどんな学問か	講義
第2回	2時限	谷口雄紀	感覚と知覚	見えの不思議	講義
第3回	2時限	谷口雄紀	記憶	記憶の仕組み	講義
第4回	2時限	谷口雄紀	思考・言語・知能	思考プロセスについて	講義
第5回	2時限	谷口雄紀	学習	学習と条件付け	講義
第6回	2時限	谷口雄紀	感情と動機付け①	感情の3要素・欲求について	講義
第7回	2時限	谷口雄紀	感情と動機付け②	動機付けの理論について	講義
第8回	2時限	谷口雄紀	性格とパーソナリティ	性格検査の種類と特性	講義
第9回	2時限	谷口雄紀	社会と集団①	社会的認知について	講義
第10回	2時限	谷口雄紀	社会と集団②	対人関係・リーダーシップについて	講義
第11回	2時限	谷口雄紀	発達①	発達とは・乳幼児の発達	講義
第12回	2時限	谷口雄紀	発達②	児童から高齢者までの発達	講義
第13回	2時限	谷口雄紀	心理臨床①	心の適応と不適応	講義
第14回	2時限	谷口雄紀	心理臨床②	心理療法	講義
第15回	2時限	谷口雄紀	医療・看護と心理	心の健康について	講義

授業概要
科学としての心理学と、一般に広がっている心理学のイメージとはかなり隔たりがある。'科学としての心理学とは何か'その理解を中心に、心理学の基本的な概念や考え方の定着をはかり、同時に自身について考える機会を作る。具体的内容として、心理学の領域について、知覚・認知の働き、学習、生涯発達、臨床心理学、個人と集団などを取り上げる。さらに科学としての心理学の領域、錯視などの心理的環境についての体感、発達段階の特徴、思考の発達や乳児の能力、生涯発達の視点から自我同一性の確立、心理療法、性格や性格検査、社会との関りについて理解し、自己認知を深め、心理学に関する知識を修得する。
授業形式
主に共通教材として教科書を用い、講義形式で行う。
評価方法
■定期試験 ■小テスト ■その他(授業参加姿勢) 定期試験、小テスト、受講態度で評価する。
教科書 (ISBN 番号)
系統看護学講座 基礎分野 心理学(978-4-260-02768-7)
参考書
不要
学生へのメッセージ
日常生活や実習等に生かせる基礎的な考え方の修得を目指すため、定期試験だけでなく、小テスト、受講態度 も重視する

講義コード	1N11200			
講義名	文章表現論			
(副題)				
開講責任部署				
講義開講時期	前期			
講義区分				
基準単位数	1			
時間	30.00			
代表曜日	月曜日			
代表時限	1時限			
科目分類名	教養・基礎分野			
科目分野名	人文科学科目			
対象学科・年次	看護学科・1 年次			
必修/選択	必修			
担当教員				
職種		氏名	所属	
(非常勤)講師		◎ 深山 孝文	指定なし	
到達目標(SBO)				
※対応するディプロマポリシー: (1) ※対応するカリキュラムポリシー: (1) 国籍や生活体験、在り方・生き方が多様化している現代の「生きる力」は、思考力・判断力・表現力である。即ち「生きる力」とは、文章を書く上での必須の能力でもある。文章作成の基本を修得し、その実践力を体得する。 いろんな資料を読んでいく中で、時事問題や身近な生活の問題などに興味と関心を持ち、社会的な視野と、次代を支える責任感を養成する。				
授業計画表				
回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	深山 孝文 (文学修士)	文章記述の基本	書き言葉と話し言葉・表記内容	講義
第 2 回	深山 孝文 (文学修士)	論理的な文章	論理(筋道)とは。文章が、説得力を持つために。	講義
第 3 回	深山 孝文 (文学修士)	論理的な文章	根拠の大切さ(事例・専門家の所見・体験等)	講義
第 4 回	深山 孝文 (文学修士)	文章記述の理解	主語と述語の骨格・慣用句	講義
第 5 回	深山 孝文 (文学修士)	新聞を読む	「多様性尊重社会へ一歩」トランスジェンダー女性に門戸	講義
第 6 回	深山 孝文 (文学修士)	文章を記述する	小島春夫さん「体力続く限り」各地でボランティアを読んで	講義
第 7 回	深山 孝文 (文学修士)	「評論」を読む	「聴くという行為」・鷲田清一	講義
第 8 回	深山 孝文 (文学修士)	新聞を読む	「医療の進歩 変わる死生観」を読んで	演習
第 9 回	深山 孝文 (文学修士)	文章を記述する	「釜石小の子どもたちを読んで」	講義
第 10 回	深山 孝文 (文学修士)	文章を記述する	「国際社会における日本人」	講義
第 11 回	深山 孝文 (文学修士)	新聞を読む	沖縄県民に安全な生活を	講義
第 12 回	深山 孝文 (文学修士)	新聞を読む	「ら抜き言葉のとりえ方」・金田一秀穂	演習

第 13 回	深山 孝文 (文学修士)	文章を記述する	「空気」の研究・山本七平を読んで	講義
第 14 回	深山 孝文 (文学修士)	文章を記述する	「医師の立場と患者」	講義
第 15 回	深山 孝文 (文学修士)	各分野の今日的課題	「各種の時事問題」と「生きる力」	講義
授業概要				
現代社会が求める「生きる力」としての基本は、思考力・判断力・表現力である。本講座では文章を書く過程において、如上の能力を培うことを目的とする。明快な文章作成の基礎を修得した上で、レポートや小論文作成の実践を行う。まず理論的な文章を書くためには基本的な「型」を修得する必要がある。その「型」に習熟し、様々なジャンルの文章を書く力を培う。また、時事問題や身近な生活の問題など自己の興味のあるテーマを選び、小論文に仕上げ、卒業論文を書く基礎とする。				
授業形式				
講義の説明と、読解と記述、意見の発表、また、発問などを適宜、組み合わせる。				
評価方法				
「論文」の記述（50％）と、「定期試験」の成績（50％）の両方の合計で、成績を確定する。 講評は個別に対応する。（不在の場合は教務課経由で対応）				
教科書（ISBN 番号）				
簡単だけど、だれも教えてくれない77のテクニック 「文章力の基本」阿部 紘久 日本実業出版社 ISBN978-4-534-04588-1 C0030				
参考書				
なし				
オフィスアワー（授業相談）				
木曜日（講義終了後～午後 1 時）本館 1F 会議室 （その他は教務課を通じて連絡）				
学生へのメッセージ				
自分のメッセージが、思う通りに、相手に伝わることは、案外に難しい。 だからこそ、過不足なくきっちりと気持ちが通じ合うことは嬉しいもの。 そのお手伝いが、いづらかでもできれば、と思っています。				

講義コード	1N11301	
講義名	倫理学	
(副題)		
開講責任部署		
講義開講時期	前期	
講義区分		
基準単位数	1	
時間	30.00	
代表曜日	月曜日	
代表時限	3時限	
科目分類名	教養・基礎分野	
科目分野名	人文科学科目	
対象学科・年次	看護学科・1年次	
必修/選択	選択	
担当教員		
職種	氏名	所属
(非常勤)講師	◎ 渡部 和隆	指定なし

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1)

※対応するカリキュラムポリシー: (1)

(1) 人と文化 人文科学、社会科学および自然科学などを広く学び、物事を多角的にみる能力を養う。(2) 医療専門職に求められる倫理観倫理的問題に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。

1. 人の価値観の多様性が、文化・習慣の違いから生まれることを、実例をあげて説明できる。

2. 言語、歴史、宗教などを学ぶことによって、外国と日本の文化について比較できる。

3. 文化・芸術に幅広く興味を持ち、その価値について討議する。(態度)

4. 文化活動、芸術活動を通して、自らの社会生活を豊かにする。(態度)

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	渡部 和隆	序論(1)	倫理学とは何か、倫理思想史の意義	講義
第2回	渡部 和隆	序論(2)	論理実証主義と情動説の挑発	講義
第3回	渡部 和隆	義務論(1)	カントの倫理学(1)	講義
第4回	渡部 和隆	義務論(2)	カントの倫理学(2)	講義
第5回	渡部 和隆	義務論(3)	カントの倫理学(3)、尊厳	講義
第6回	渡部 和隆	功利主義(1)	ベンサム	講義
第7回	渡部 和隆	功利主義(2)	J.S.ミルの『自由論』、パターナリズム批判	講義
第8回	渡部 和隆	功利主義(3)	動物の解放	講義
第9回	渡部 和隆	正義論(1)	アリストテレスの生議論	講義
第10回	渡部 和隆	正義論(2)	リベラリズム	講義
第11回	渡部 和隆	正義論(3)	リバタリアニズム	講義
第12回	渡部 和隆	正義論(4)	共同体主義	講義
第13回	渡部 和隆	正義とは異なる基礎①	ケアの倫理	講義
第14回	渡部 和隆	正義とは異なる基礎②	責任という原理	講義
第15回	渡部 和隆	まとめ	全体のまとめ	講義

授業概要

倫理学(道徳哲学)は、たとえば物理学や化学、あるいは経済学や法学などが事実を対象とするのとは異なり、規範(行為の善悪)を探究する学問である。そのため、この学問に要求される思考形式や方法論は、他の事実学とは根本的に異質なものとなり、事実と価値は異なる世界に属しており、両者は区別して取り扱う必要があることを学ぶ。講義の要点は、道徳について意味のある結論に到達するためには何が必要なのか、具体例を引きながら、そのための問題意識を深めていくことを目的とする。

授業形式
講義
評価方法
■定期試験 ■その他(授業参加姿勢) 定期試験 70%、授業参加姿勢 30%
教科書 (ISBN 番号)
なし
参考書
授業中、必要に応じて指示する。
学生へのメッセージ
授業は講義形式であるが、積極的な参加を希望したい。

講義コード	1N11400			
講義名	看護倫理			
(副題)				
開講責任部署				
講義開講時期	前期			
講義区分				
基準単位数	1			
時間	30.00			
代表曜日	金曜日			
代表時限	4時限			
科目分類名	教養・基礎分野			
科目分野名	人文科学科目			
対象学科・年次	看護学科・1年次			
必修/選択	必修			
担当教員				
職種	氏名	所属		
(非常勤)講師	◎ 中尾 久子	指定なし		
教授	平田 伸子	母性・助産学領域 看護師・助産師免許保有		
教授	安藤 満代	精神看護学領域 看護師免許保有		
教授	西地 令子	公衆衛生看護学領域 看護師・保健師免許保有		
(非常勤)講師	立石 和子	指定なし		
(非常勤)講師	濱田 裕子	指定なし		
到達目標(SBO)				
※対応するディプロマポリシー:(1) ※対応するカリキュラムポリシー:(1) 1.生命倫理の原則について説明できる。 2.医療におけるインフォームドコンセントと患者の権利について説明できる。 3.医療における守秘義務と個人情報保護の必要性について説明できる。 4.生殖に関する倫理的問題について説明できる。 5.死に関する生命倫理の課題について説明できる。 6.「看護者の倫理綱領」について説明ができる。 7.倫理的問題に対するアプローチ方法について理解する。 8.看護実践で倫理的判断が必要な事例をもとに、判断・行動するための考えを述べることができる。 9.看護研究における倫理的配慮について説明ができる。				
授業計画表				
回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	中尾 久子	講義ガイダンス 倫理学の基本的な考え方 生命倫理	講義の進め方、履修上の注意など 倫理とはなにか、倫理理論、生命倫理とはなにか、生命倫理の理論、生命倫理の倫理原則、生命倫理と看護職の責務、インフォームドコンセント、守秘義務と個人情報保護	講義
第2回	中尾 久子	生殖と死をめぐる生命倫理	性の生命倫理、生殖の生命倫理 死について、死と医療、死についての生命倫理	講義
第3回	中尾 久子	先端医療と制度をめぐる生命倫理	移植医療、再生医療、遺伝子医療、研究倫理、医療資源と医療保険制度	講義
第4回	中尾 久子	看護倫理とはなにか	看護倫理を学ぶ意義、看護倫理の歴史、看護の倫理原則、看護実践上の倫理的概念、看護実践と倫理	講義
第5回	中尾 久子	専門職の倫理	社会からみた看護、専門職に求められる倫理、専門職の倫理綱領、看護業務基準と倫理実践、保健師助産師看護師法と倫理	講義
第6回	中尾 久子	倫理的問題へのアプローチ	看護実践における倫理的問題の特徴、倫理的問題へのアプローチ	講義

第 7 回	平田 伸子	母性看護・助産の倫理	優生思想における倫理的問題	講義 演習
第 8 回	濱田 裕子	小児看護の倫理	成長に関わる倫理的課題	講義 演習
第 9 回	安藤 満代	精神看護の倫理	精神科看護ケアと倫理について	講義 演習
第 10 回	立石 和子	成人看護の倫理	成人看護における倫理的課題①	講義 演習
第 11 回	立石 和子	成人看護の倫理	成人看護における倫理的課題②	講義 演習
第 12 回	中尾 久子	高齢者看護の倫理	高齢者看護ケアと倫理について	講義 演習
第 13 回	中尾 久子	在宅看護の倫理	在宅看護ケアと倫理について	講義 演習
第 14 回	西地 令子	公衆衛生看護の倫理	公衆衛生看護における倫理的課題	講義 演習
第 15 回	中尾 久子	看護研究の倫理、看護倫理 の今後の展望 看護倫理のまとめ	看護研究における倫理と倫理的配慮 看護倫理の今後の展望 看護倫理の振り返りと理解度確認	講義 演習

授業概要

看護倫理では、生命の尊厳や人権尊重について学び、生殖から死に至るまでの間に起こりうる様々な倫理的問題状況を通して、医療における倫理・看護における倫理の重要性について考える。
看護と関連する倫理と法、倫理原則や倫理綱領について学び、先端医療や研究と倫理について学ぶ。
また、日常の看護倫理に関して、看護職の専門性と関連する倫理的な視点や役割機能について学び、身近な事例や情報を用いて、看護の現場にある倫理的問題状況に気づき、事例検討を通して、何をすべきか考える。看護倫理における学びは、全ての科目の基盤となる学問であり、将来、医療に関わる専門職となることを自覚し、専門職業人にふさわしい行動・態度ができるようになることを目指す。

授業形式

講義、演習

評価方法

■定期試験 ■レポート
定期試験 80%、レポート 20%

教科書 (ISBN 番号)

医学書院.系統看護学講座.別巻「看護倫理」ISBN:978-4-260-03445-6 C3347

参考書

その都度お知らせします。

オフィスアワー(授業相談)

講義時間の前後に授業相談に対応します。

講義コード	1N11501			
講義名	生命・医療倫理学			
(副題)				
開講責任部署				
講義開講時期	後期			
講義区分				
基準単位数	1			
時間	20.00			
代表曜日	火曜日			
代表時限	2時限			
科目分類名	教養・基礎分野			
科目分野名	人文科学科目			
対象学科・年次	看護学科・1年次			
必修/選択	必修			
担当教員				
職種	氏名	所属		
(非常勤)講師	◎ 井上 久美子	指定なし		
到達目標(SBO)				
※対応するディプロマポリシー:(1) ※対応するカリキュラムポリシー:(1) 倫理的問題に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。 【①生命倫理】 1. 生命の尊厳について、自らの言葉で説明できる。(知識・態度) 2. 生命倫理の諸原則(自律尊重、無危害、善行、正義等)について説明できる。 3. 生と死に関わる倫理的問題について討議し、自らの考えを述べる。SGD 形式(知識・態度) 4. 科学技術の進歩、社会情勢の変化に伴う生命観の変遷について概説できる。 【②医療倫理】 1. 医療倫理に関する規範(ジュネーブ宣言等)について概説できる。 2. 医療専門職として順守すべき倫理規範について説明できる。 3. 医療の進歩に伴う倫理的問題について説明できる。 【③患者の権利】 1. 患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識する。(態度) 2. 患者の基本的権利の内容(リスボン宣言等)について説明できる。 3. 患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義について説明できる。 4. 知り得た情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。(知識・技能・態度) 【④研究倫理】 1. 臨床研究における倫理規範(ヘルシンキ宣言等)について説明できる。 2. 「ヒトを対象とする研究において遵守すべき倫理指針」について概説できる。 3. 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。(態度)				
授業計画表				
回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	井上 久美子	生命・医療倫理学とは 死とは	生命倫理と医療倫理 生命倫理の諸原則 各分野での死のとりえ方	講義
第2回	井上 久美子	身近な死	悲嘆を乗り越える為のプロセス	講義
第3回	井上 久美子	終末期患者の事例	ホスピス緩和ケアの本質を探る	講義
第4回	井上 久美子	事例検討(医療倫理の視点で)	医療倫理規範(ジュネーブ宣言)、患者の基本的権利内容(リスボン宣言)をふまえて	講義
第5回	井上 久美子	ホスピス緩和ケア	人としての尊厳ある死(人間らしい死)とは	講義
第6回	井上 久美子	死の意思決定	尊厳死 安楽死	講義
第7回	井上 久美子	インフォームドコンセント	末期患者への告知とインフォームドコンセント	講義

第 8 回	井上 久美子	身体的痛みの緩和	モルヒネなどの薬剤効果と使用方法 医療専門職として順守すべき倫理規範	講義
第 9 回	井上 久美子	死の仮想体験、精神的、心理的 痛みの緩和	言葉で癒す 他	講義
第 10 回	井上 久美子	魂の痛みの緩和	シシリー・ソンドースの全人的痛み キューブラー・ロスの「死の五段階説」	講義
授業概要				
・主に終末期医療を通して、人の生死に医療がどう関わってきたか、関わるべきかという考え方など、生命・医療倫理について学ぶ。 ・ホスピスケア(ターミナルケア、緩和ケア、終末期ケア)の歴史的意味、また日本での変遷、その医療に求められる「ケアの本質」について理解する。 ・「死」の意味そのとらえ方の違い、ホスピス緩和ケアの理解等を通して、自らの死生観を明確化する。				
授業形式				
教科書及び、プレゼンテーション資料等を用いて、主に講義形式で行う。				
評価方法				
■定期試験 ■その他(感想文) 定期試験 80%、感想文提出 20%				
教科書 (ISBN 番号)				
医療倫理学 第2版 丸山マサ美 編著 (中央法規)				
参考書				
・ホスピスという力 死(いのち)のケアとはなにか 米沢 慧 (日本医療企画) ・バイオエシックス・ハンドブック 生命倫理を超えて 木村利人他 編集 (法研)				

講義コード	1N11600			
講義名	文学 I			
(副題)				
開講責任部署				
講義開講時期	前期			
講義区分	講義			
基準単位数	1			
時間	30.00			
代表曜日	金曜日			
代表時限	3時限			
科目分類名	教養・基礎分野			
科目分野名	人文科学科目			
対象学科・年次	看護学科・1年			
必修/選択	選択			
担当教員				
職種		氏名	所属	
(非常勤)講師		◎ 吉川 三恵子	指定なし	
一般目標(GIO)				
様々な分野の日本文学作品の主題を通して、今生きている日常を振り返る機会が得られ、日本の文化・伝統・情緒・人生観や無常観などを深く考察することを目標とする。 人間とは何かということを深く追求でき、作品を通じて他者と向き合うことによる多様な価値観やものの見方を学ぶことを目標とする。				
到達目標(SBO)				
※対応するディプロマポリシー：(1) ※対応するカリキュラムポリシー：(1) 様々な分野の日本文学作品の主題を通して、今生きている日常を振り返る機会が得られ、日本の文化・伝統・情緒・人生観や無常観などを深く考察することを目標とする。人間とは何かということを深く追求でき、作品を通じて他者と向き合うことによる多様な価値観やものの見方を学ぶことを目標とする。 ①作品を理解し、アイデンティティの確立の前提となる論理的思考の一端を身に付けることができる。 ②作品を通して、様々な生き方や考え方に触れ、社会や人生に関心を向けることができる。 ③死とは何か、また無常観を深く思考することができる。 ④古典文学を通して日本の伝統文化や先人のものの見方や感じ方に関心を持つことができる ⑤ことばのリズムや流れの美しさを感じ得ることができる。 ⑥宗教と人間の関係について深く思考することができる。 ⑦人間にとっての情や苦悩及び肝腎なものとは何かを考察することができる。 ⑧文明社会や競争社会に対する弊害を理解し、改善策を考察することができる。 ⑨弱者の立場を理解し、他者をおもいやる心を育むことができる。				
授業計画表				
回	担当教員	項目	内容	方略
第 1 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	・作品分析の基本 ・あまんきみこ 「ぢいちゃんのかげおくり」	・疑問点を抽出することによって 自己のアイデンティティの確立 ・戦争をどう捉えるか ・死を受容すること	講義
第 2 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	万葉集 詩歌 (1)	万葉集から古代の人間模様を読み解く	講義・演習
第 3 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	万葉集 詩歌 (2)	古代の歴史と詩歌	講義
第 4 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	万葉集 詩歌 (3)	詩歌に込められた人々の思い	講義・演習
第 5 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	文学散策(太宰府)	万葉の和歌、奈良・平安時代めぐり	演習
第 6 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	「平家物語」 (1)	武士(男)の生き様とは 女の生き様とは	講義

第 7 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	平家物語「義仲の最期」(2)	古典に描かれた親子・兄弟とは	講義
第 8 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	平家物語「義仲の最期」(3)	戦いの中に描かれる人間性	講義
第 9 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	平家物語「義仲の最期」(4)	無常観・盛者必衰とは	講義
第 10 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	平家物語 講義の総括(5)	まとめ	講義・演習
第 11 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	宮沢賢治「よだかの星」(1)	・強者と弱者—競争社会への問題提起 ・生とは何か・解脱とは何か	講義・演習
第 12 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	宮沢賢治「よだかの星」(2) 「注文の多い料理店」(1)	宮沢賢治の生き方と時代背景	講義
第 13 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	宮沢賢治「注文の多い料理店」(2)	宮沢賢治ワールドとは	講義
第 14 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	宮沢賢治「注文の多い料理店」(3)	近代文明に対する批判	講義・演習
第 15 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	第 11 回～第 14 回講義の総括	まとめ	講義・演習

授業概要

若年層の読書離れが取りざたされる昨今、本を読むことにより、自己の潜在意識を発見し、内蔵される自らの心の中を掘り起こす機会を得られるような授業展開をする。作品を通して、自己と異なる見方や人生観、価値観を持つ「他者」と対峙することは社会人として確立された大人への第一歩を踏み出すための重要な過程である。よって深く考察できるよう比較的平易な作品を取り上げた。多様な読み方を体得し思考力を養ってほしい。

授業形式

- ①講義と演習(ディスカッションや発表)を交互に進める。
- ②古典・物語・小説・韻文と幅広く作品を取り上げていく。

評価方法

- ①定期試験は実施しない。
 - ②中間及び最終講義の小テストで評価する。(80%)
 - ③授業中のディスカッションや発表の積極性も評価の対象となる。(20%)
- 講評は個別に対応する。(不在の場合は教務課経由で対応)

教科書 (ISBN 番号)

なし

参考書

なし

オフィスアワー(授業相談)

金曜日講義終了後～17 時(メールにても対応します。)

授業用 E-mail

kyoumu@daiichi-cps.ac.jp

講義コード	1N11700			
講義名	文学Ⅱ			
(副題)				
開講責任部署				
講義開講時期	後期			
講義区分	講義			
基準単位数	1			
時間	30.00			
代表曜日	金曜日			
代表時限	4時限			
科目分類名	教養・基礎分野			
科目分野名	人文科学科目			
対象学科・年次	看護学科・1年			
必修/選択	選択			
担当教員				
職種		氏名	所属	
(非常勤)講師		◎ 吉川 三恵子	指定なし	
一般目標(GIO)				
様々な分野の日本文学作品の主題を通して、今生きている日常を振り返る機会が得られ、日本の文化・伝統・情緒・人生観や無常観などを深く考察することを目標とする。 人間とは何かということを深く追求でき、作品を通じて他者と向き合うことによる多様な価値観やものの見方を学ぶことを目標とする。				
到達目標(SBO)				
※対応するディプロマポリシー：(1) ※対応するカリキュラムポリシー：(1) 様々な分野の日本文学作品の主題を通して、今生きている日常を振り返る機会が得られ、日本の文化・伝統・情緒・人生観や無常観などを深く考察することを目標とする。人間とは何かということを深く追求でき、作品を通じて他者と向き合うことによる多様な価値観やものの見方を学ぶことを目標とする。 ①作品を理解し、アイデンティティの確立の前提となる論理的思考の一端を身に付けることができる。 ②作品を通して、様々な生き方や考え方に触れ、社会や人生に関心を向けることができる。 ③社会における女性の生き方と同様の価値を考察することができる。 ④真の大人になるための条件を認識することができる。 ⑤孤独を獲得するとはいかなることか考察することができる。 ⑥自由とは何かということを認識できる。 ⑦追いつめられた者の心の荒廃を理解できる。 ⑧自分の力の及ばぬ事態(運命)に、いかに対峙するか考察することができる。 ⑨現代社会のひずみに対しての考察を深めることができる。 ⑩人間の普遍性とは何かを考察することができる。 ⑪「安楽死」「尊厳死」について深く考察することができる。 ⑫文学における思想性とはいかなることかを考察することが出来る。				
授業計画表				
回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	吉川 三恵子 (教育学修士)	金子みすずの童謡(1)	大正ロマン期の「赤い鳥」運動について	講義・演習
第2回	吉川 三恵子 (教育学修士)	金子みすずの童謡(2)	作者の人生と時代背景	講義
第3回	吉川 三恵子 (教育学修士)	金子みすずの童謡(3)	代表作品の分析―弱者への眼差し	講義
第4回	吉川 三恵子 (教育学修士)	金子みすず 講義の総括	まとめ	講義・演習

第 5 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	辻 仁成「ミラクル」(1)	過去に支配され、現実 に振り回されるとは 真の大人になることの条件とは —「孤独を友とせよ」から読み解く	講義
第 6 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	文学散策(柳川)	大正ロマン期の北原白秋めぐり	演習
第 7 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	井伏鱒二「山椒魚」(1)	井伏鱒二「山椒魚」(1) 自由とは何か	講義
第 8 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	井伏鱒二「山椒魚」(2)	他者への共感	演習
第 9 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	井伏鱒二「山椒魚」(3)	末尾削除から見えてくるもの 蛙との和解はあるのか	演習
第 10 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	井伏鱒二「山椒魚」(4)	「山椒魚」まとめ	講義
第 11 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	第 5 回～第 9 回講義の総括	まとめ	講義・演習
第 12 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	森鷗外「高瀬舟」(1)	「知足」の境地とは	講義
第 13 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	森鷗外「高瀬舟」(2)	安楽死と喜助の罪について	演習
第 14 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	森鷗外「高瀬舟」(3)	法と自己認識との相違	講義
第 15 回	吉川 三恵子 (教育学修士)	森鷗外「高瀬舟」講義の総括	「高瀬舟」まとめ	講義・演習

授業概要

若年層の読書離れが取りざたされる昨今、本を読むことにより、自己の潜在意識を発見し、内蔵される自らの心の中を掘り起こす機会を得られるような授業展開をする。作品を通して、自己と異なる見方や人生観、価値観を持つ「他者」と対峙することは社会人として確立された大人への第一歩を踏み出すための重要な過程である。よって深く考察できるよう比較的平易な作品を取り上げた。多様な読み方を体得し思考力を養ってほしい。

授業形式

- ①講義と演習(ディスカッションや発表)を交互に進める。
- ②古典・物語・小説・韻文と幅広く作品を取り上げていく。

評価方法

- ①定期試験は実施しない。
 - ②中間及び最終講義の小テストで評価する。(80%)
 - ③授業中のディスカッションや発表の積極性も評価の対象となる。(20%)
- 講評は個別に対応する。(不在の場合は教務課経由で対応)

教科書 (ISBN 番号)

なし

参考書

なし

オフィスアワー(授業相談)

金曜日講義終了後～17 時(メールにても対応します。)

授業用 E-mail

kyoumu@daiichi-cps.ac.jp

講義コード	1N11800			
講義名	哲学 I			
(副題)				
開講責任部署				
講義開講時期	前期			
講義区分				
基準単位数	1			
時間	30.00			
代表曜日	金曜日			
代表時限	3時限			
科目分類名	教養・基礎分野			
科目分野名	人文科学科目			
対象学科・年次	看護学科・1年次			
必修/選択	選択			
担当教員				
職種		氏名	所属	
(非常勤)講師		◎ 渡部 和隆	指定なし	
到達目標(SBO)				
※対応するディプロマポリシー: (1) ※対応するカリキュラムポリシー: (1) 人文科学、社会科学および自然科学などを広く学び、物事を多角的にみる能力を養う。 1. 人の価値観の多様性が、文化・習慣の違いから生まれることを、実例をあげて説明できる。 2. 言語、歴史、宗教などを学ぶことによって、外国と日本の文化について比較できる。 3. 文化・芸術に幅広く興味を持ち、その価値について討議する。(態度) 4. 文化活動、芸術活動を通して、自らの社会生活を豊かにする。(態度)				
授業計画表				
回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	渡部 和隆	序論	哲学とは何か、哲学史の意義	講義
第2回	渡部 和隆	古代(1)	古代ギリシアの精神史	講義
第3回	渡部 和隆	古代(2)	ソクラテス	講義
第4回	渡部 和隆	古代(3)	プラトン	講義
第5回	渡部 和隆	古代(4)	アリストテレス	講義
第6回	渡部 和隆	中世(1)	中世精神史、キリスト教	講義
第7回	渡部 和隆	中世(2)	神の存在証明	講義
第8回	渡部 和隆	中世(3)	实在論から唯名論へ	講義
第9回	渡部 和隆	中世(4)	唯名論と宗教改革	講義
第10回	渡部 和隆	ルネサンス	イタリア・ルネサンスと北方ルネサンス	講義
第11回	渡部 和隆	大陸合理論(1)	デカルト	講義
第12回	渡部 和隆	大陸合理論(2)	スピノザ	講義
第13回	渡部 和隆	大陸合理論(3)	ライプニッツ	講義
第14回	渡部 和隆	イギリス経験論(1)	ジョン・ロック	講義
第15回	渡部 和隆	イギリス経験論(2)	ヒューム	講義
授業概要				
私たちの日常生活を支配する信念は、その多くが不確かであるばかりか、誤りでさえある。哲学は常識に潜む多くの誤謬を白日に晒し、その誤りの掘って来る原因を尋ね、そこからの出口を探求する。その過程で、諸君は今まで夢にも見たことのない、新たな世界についての知見に出会うことになるだろう。本講義では哲学史を中心に、文学や芸術の歴史も適宜紹介しつつ、具体的な人間の生きる姿を通して哲学的思考の姿を示していく。				

授業形式
講義
評価方法
■定期試験 ■その他(授業参加姿勢) 定期試験 70%、授業参加姿勢 30%
教科書 (ISBN 番号)
なし
参考書
授業中、必要に応じて指示する。
学生へのメッセージ
授業は講義形式であるが、積極的な参加を希望したい。

講義コード	1N11900			
講義名	哲学Ⅱ			
(副題)				
開講責任部署				
講義開講時期	後期			
講義区分				
基準単位数	1			
時間	30.00			
代表曜日	金曜日			
代表時限	4時限			
科目分類名	教養・基礎分野			
科目分野名	人文科学科目			
対象学科・年次	看護学科・1年次			
必修/選択	選択			
担当教員				
職種		氏名	所属	
(非常勤)講師		◎ 渡部 和隆	指定なし	
到達目標(SBO)				
※対応するディプロマポリシー:(1) ※対応するカリキュラムポリシー:(1) 人文科学、社会科学および自然科学などを広く学び、物事を多角的にみる能力を養う。 1. 人の価値観の多様性が、文化・習慣の違いから生まれることを、実例をあげて説明できる。 2. 言語、歴史、宗教などを学ぶことによって、外国と日本の文化について比較できる。 3. 文化・芸術に幅広く興味を持ち、その価値について討議する。(態度) 4. 文化活動、芸術活動を通して、自らの社会生活を豊かにする。(態度)				
授業計画表				
回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	渡部 和隆	精神史の概念	哲学Ⅰの復習と後期の展望	講義
第2回	渡部 和隆	コペルニクスの転回	カント	講義
第3回	渡部 和隆	ドイツ観念論(1)	フィヒテ	講義
第4回	渡部 和隆	ドイツ観念論(2)	ヘーゲル	講義
第5回	渡部 和隆	政治哲学(1)	ホッブズ	講義
第6回	渡部 和隆	政治哲学(2)	ジョン・ロック(2)	講義
第7回	渡部 和隆	政治哲学(3)	スコットランド啓蒙	講義
第8回	渡部 和隆	政治哲学(4)	ルソー	講義
第9回	渡部 和隆	近代ドイツ精神史(1)	ドイツ古典主義	講義
第10回	渡部 和隆	近代ドイツ精神史(2)	ドイツ・ロマン主義	講義
第11回	渡部 和隆	社会思想	マルクス	講義
第12回	渡部 和隆	実存哲学(1)	キルケゴール	講義
第13回	渡部 和隆	実存哲学(2)	ニーチェ	講義
第14回	渡部 和隆	現代の始まり	20世紀について	講義
第15回	渡部 和隆	20世紀の哲学	ハイデッガー	講義
授業概要				
私たちの日常生活を支配する信念は、その多くが不確かであるばかりか、誤りでさえある。哲学は常識に潜む多くの誤謬を白日に晒し、その誤りの掘って来る原因を尋ね、そこからの出口を探求する。その過程で、諸君は今まで夢にも見たことのない、新たな世界についての知見に出会うことになるだろう。本講義では哲学Ⅰに引き続き、哲学史を中心に、文学や芸術の歴史も適宜紹介しつつ、具体的な人間の生きる姿を通して哲学的思考の姿を示していく。				
授業形式				

講義
評価方法
■定期試験 ■その他(授業参加姿勢) 定期試験 70%、授業参加姿勢 30%
教科書 (ISBN 番号)
なし
参考書
授業中、必要に応じて指示する。
学生へのメッセージ
授業は講義形式であるが、積極的な参加を希望したい。

講義コード	1N12301		
講義名	経済学 I		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	前期		
講義区分			
基準単位数	1		
時間	30.00		
代表曜日	月曜日		
代表時限	3時限		
科目分類名	教養・基礎分野		
科目分野名	社会科学科目		
対象学科・年次	看護学科・1年次		
必修/選択	選択		
担当教員			
職種		氏名	所属
(非常勤)准教授		◎ 市東 亘	西南学院大学

到達目標(SBO)

※対応するディプロマポリシー: (1)

※対応するカリキュラムポリシー: (1)

経済学は、私達を取り巻く経済現象を理解するための学問と思われがちですが、実は経済現象にとどまらず、文化、社会、政治、法律、犯罪、教育、その他、人間に関わるあらゆる現象を分析対象としています。結局、経済学は、分析方法に特徴を持つのであり、分析対象に特段の制約を設けていないということです。本講では、ミクロ経済学を中心に学修し、日常の様々な問題に対し、経済学の考え方をを用いた問題解決方法をケース スタディで学びます。経済学Ⅱでは経済学Ⅰで学んだ事項をさらに発展させ、皆さんが社会人になってから遭遇するであろう現実的な問題の解決方法を学ぶので、経済学Ⅱと合わせて受講して下さい。

(1)経済学の基本である、経済主体の最適化問題を解くことが出来る。

(2)ミクロ経済学の考え方をを用いて、日常の様々な問題に対して解決策を提示することが出来る。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	方略
第1回	市東 亘	経済学とは？	経済学の問題解決アプローチについて	講義
第2回	市東 亘	インセンティブの力	テキストディスカッション	講義 演習
第3回	市東 亘	インセンティブの力	効用関数の定義	講義
第4回	市東 亘	合理性の謎	テキストディスカッション	講義 演習
第5回	市東 亘	合理性の謎	消費者行動理論 1.無差別曲線と予算制約線	講義
第6回	市東 亘	合理性の謎	消費者行動理論 2.効用最大化問題	講義
第7回	市東 亘	合理性の謎	消費者行動理論 3.限界代替率と相対価格	講義
第8回	市東 亘	企業行動理論	利潤最大化問題	講義
第9回	市東 亘	企業行動理論	限界収入と限界費用: 効用最大化条件との関係	講義
第10回	市東 亘	無差別原則	テキストディスカッション: ノーフリーランチの原則	講義
第11回	市東 亘	無差別原則	消費者行動理論	講義
第12回	市東 亘	無差別原則	利潤最大化問題	講義
第13回	市東 亘	無差別原則	費用便益分析	講義
第14回	市東 亘	官僚による死(薬害問題の経済分析)	テキストディスカッション 限界便益と限界費用: 利潤最大化問題との関係	講義 演習
第15回	市東 亘	官僚による死(薬害問題の経済分析)	問題演習	演習

授業概要
日常の問題を題材に、経済学的な見方をディスカッションした後、ミクロ経済学の(1)消費者行動理論、(2)企業行動理論を中心に学びながら、各経済主体にとって最適な選択とは何か、また、最適な選択を実現するためにはどうすればよいか、その方法を学びます。
授業形式
講義とディスカッション形式で進めます。
評価方法
■定期試験 ■その他(ディスカッション) 定期試験 50%、ディスカッション 50%
教科書 (ISBN 番号)
なし
参考書
講義で紹介します。